

吹田市文化会館（メイシアター）指定管理者候補者選定委員会議事概要

1 開催日時 令和6年1月23日（火）

開 会 午後1時30分 閉会 午後4時

2 開催場所 吹田市文化会館（メイシアター）第1会議室

3 出席委員

委員長	橋本 行史	大阪観光大学 観光学部 教授
副委員長	串崎 幸代	千里金蘭大学 教育学部教育学科 准教授
委員	大谷 羊子	脚本・演出家 吹田市内での演劇指導
委員	柳瀬 真佐子	NPO 法人市民ネットすいた理事長
委員	目加田 純一	近畿税理士会吹田支部

4 次第

(1) 開会あいさつ

(2) 委員長及び副委員長の選任

(3) 諮問

(4) 第三者モニタリング評価

ア モニタリング評価の手順について

イ 市の評価に対する確認

ウ 各委員の評価（指定管理者のヒアリング）

(5) 答申

5 議事要旨

【開会あいさつ】

【委員長及び副委員長の選任】

【事務局資料説明】

委員長 参考資料4の3に施設の利用状況が記載されているが、事業実施数や入場

者数についての評価はどの項目にあたるのか。

事務局 事業実施数や入場者数についてのみを評価している項目はないが、参考資料3の市のモニタリングでいえば、2 管理運営内容 (3) 事業運営イの「施設の設置目的に合致した自主事業を適切に実施している。」という中で評価している。

委員長 「利用者数」と「事業入場者数」の違いは何か。

事務局 利用者数は入館者数であり、事業入場者数は指定管理者が行っている自主事業の観客や参加者の数である。

委員長 市民向けの展示施設であっても、より芸術性があるものを展示してはどうかという意見が別施設で意見としてあったが、芸術性の高い低い等の質の評価は何を基準にしたらよいか。

事務局 参考資料5で指定管理者から提出された事業報告書をお示ししており、実施した様々な事業を掲載している。

A 委員 自主事業・共催事業と受託事業の違いは何か。

事務局 自主事業はメイシアターが実施している事業であり、受託事業は吹田市から委託を行い実施している事業である。

受託事業はほとんどが文化スポーツ推進室の事業で、一部人権政策室や青少年室が実施している事業もある。

委員長 受託事業ではイベントによる入場者数が少なくても今回の評価とは別と考えてよいか。

事務局 指定管理者は自主事業としてメイシアターを活用して文化事業を実施することが可能で、それは評価の対象となる。受託事業は市民劇場等の市からクラシックコンサートやバレエ等の様な公演を委託して実施しているもので、今回の第三者モニタリングでの評価シートで直接の評価項目はないが、市の文化振興をどれだけ実施しているかという広い評価の意味で評価に入るということになる。

A 委員 収入は市の収入となるのか。

- 事務局 自主事業については、経費は指定管理者が負担して収入は指定管理者に入る。受託事業については、経費は市が負担して収入は市に入る。
- A 委員 受託事業については、赤字が出て指定管理者の評価には関係がないのか。
- 事務局 市が委託している事業については、文化振興の観点から集客や内容などを評価の対象として扱う。
- 委員長 自主事業のPRについては、市では行わないのか。
- 事務局 市報にはメイシアターの枠があるので、自主事業・受託事業問わず掲載は行っており、チラシの作成についても自主・受託の区別なく作成している。市のHPに掲載するものについては、委託事業を優先的に載せている部分はある。
- B 委員 文化振興という大きな枠組みの中で、受託事業であっても指定管理者が専門性を持ってしっかり取り組んでいるかを評価するというのでよいか。
- 事務局 市が依頼している受託事業であっても評価シートの評価項目2の利用者満足度のイの「講座やイベントは利用者に満足できるものである。」や「その他」の「市の施策に沿った運営」によって、事業の内容や協働について評価することができる。
- 委員長 指定管理者と市の意見交換の場はあるのか。
- 事務局 距離的に近いということもあり、定期的ではないが次年度実施事業等について随時意見交換は実施している。また、最近では新規事業について2週間に一度程度の頻度で定期的に意見交換を行っている。

【指定管理者入場・挨拶】

【施設見学】

- C 委員 管理経費縮減について具体的に取組まれていることを教えて欲しい。
- 指定管理者 日常的に施設管理経費の中でウエイトをしめる光熱水費について、使用しない部屋についてこまめに空調を切ることを徹底したり、消耗品につい

て純正品の使用にこだわらず支障のないかぎりリサイクル品の活用も行っている。また、再委託業務について館内の点検回数や人員の見直しを行っている。その中でも舞台装置の保守点検業務を半分に削減し、常駐の舞台管理を行う人員1名の代わりに職員で対応することにより1,300万円程度の委託料の削減を行った。

委員長 樹木の剪定や清掃などの周囲の緑地の管理は誰が行っているのか。

指定管理者 館内の高木低木の管理を行っている。定期的ではないが樹木の伸び具合を見ながら剪定を委託している。

委員長 ボランティアによる管理業務の一部実施はあるのか。

指定管理者 ボランティアによる一部業務の実施は行っていない。

委員長 利用者からの苦情や意見についてどのようなものがあるのか。

指定管理者 昨年度いただいた意見としては、バイクの駐輪による近隣への騒音があったが、常駐の警備員により都度指導を行い対応した。また、視覚障がい者の方がメイシアター事務所にタクシー手配を依頼しに来た際に、視覚障がい者とわからず適切な手配ができなかったことがあったことに対して、お詫びとともに職員全員に指導の徹底を行い再発防止に努めた。

委員長 利用者PRについてはどのような方法で行っているのか。

指定管理者 自主事業のPRについては、ここ数年SNSやHPの活用に注力している。一方デジタルに馴染みのない人のために、経費削減も考慮して新聞の無料で告知を掲載できるイベント欄を職員で探して掲載依頼を出すようにしている。

委員長 経費の部分においてもWEB広告は有効な手段だと思うが誰が事務を行っているのか。

指定管理者 メインのHPは専門の業者に委託しているが、SNS等即時性の求められるものについては事業課のスタッフで行っている。

B委員 使用しているSNSはどのようなものがあるか。

指定管理者 X(旧Twitter)、Facebook、公式ライン及びメールマガジンを使用して

いる。インスタグラムについては実施していない。

限られた人件費の中で、アートマネジメントの勉強をしてきた人の採用を優先してきた部分があり、デジタルコンテンツに強い人の採用については課題と認識している。

委員長 即時性の面では劣るが職員を雇用するよりも経費を抑えることができるならば外部に委託する方法も考えられる。

A 委員 利用者の満足度は何を見れば評価できるか。文化において人数の多い少ないで必ずしも評価できるものではないが極端に入場者が少なかったり、アンケートが少なかったりするのの一つの指標になる部分もある。

指定管理者 まずはアンケートでシンプルな統計をとり、感想に関しては次回の公演にいかすようにしている。また、入場料収入が多ければ成功した事業であり、ニーズがあったという判断基準にもなると思う。小ホール演劇公演については、市民にはあまり馴染み深いものではないかもしれないが、担当者が新聞社に行き専門家に評論を書いてもらうことで評価を見ていない市民にも伝えられるような取組を行っている。

委員長 入場者数の多い少ないの基準は分かりやすいと思うが、アートの評価を判断する他の基準はあるのか。

A 委員 アンケートについては、回収率が低い場合には、記載内容をそのまま信じるのはよくないが、斬新で盛り上がった場合は皆アンケートを書く。また、入場者数に比べてアンケート数が少ない場合はあまり良くなかった判断になるし、入場者数に比べてアンケート数が多い場合は、新しいことができたという判断にもなりうる。

演劇の公演においては、良い芝居をした場合、入場者は興奮してアンケートを書きたがることが多い。今は紙でのアンケートに加えて出演者にSNSで感想を直接送られることも多く、送られてきた感想を皆で共有している。

委員長 アンケートをとるためにどのような取組を行っているか。

指定管理者 全ての自主事業でパンフレットにアンケート用紙を挟み込み、入場客に

渡している。アンケートの右下にはグーグルフォームに誘導するQRコードを記載している。その場でアンケートを投函できない場合は、家に帰ってから感想等を入力できる。アンケートについては催し物ごとに集計して職員で共有している。デジタルの回答について、今はまだあまり多くはない。平均的に15%ぐらいの回収率だが、盛り上がった公演の場合は割合がかなり上がる。

B委員 メイシアターの友の会のようなものはあるのか。また、あるとすれば加入促進等はどうのような取組を行っているのか。

指定管理者 メイシアター・メイト制度があり構成員は4割程が70歳代であるため、会員制度の見直しについて検討している。38年間続いており、70歳代がメインの構成が続いているが総数は減少している。メイシアター・メイトの集いを毎年実施して勧誘している。メイト会員を増やす周知よりも個々の公演の周知に力を入れている。

委員長 長期に渡って高齢層を大事にするのは評価に値すると思う。ただし、新しい人を勧誘することやそのための自主事業の内容も大事になってくる。

A委員 自主事業や受託事業が若い人達に対して魅力的なものであれば、若年層の周知に繋がる。

指定管理者 若年層の集客について、子供向けの催し物についてはコロナ禍でも客足が減らなかった。人形劇や子供向けコンサートは近隣の子育て中の家族で満員であった。そういう人達は、メイト会員には入らずにSNS等で情報を得てインターネットでチケットを購入している。メイト会員については、手紙等でチケットを予約し、メイシアターの窓口でチケットを買いにくる方もいる。若年層にも有料でメイト会員になってもらうためには、魅力のある催しを増やしていかなければならないと思う。

B委員 若いうちに音楽や演劇に触れる経験をすることで大人になっても関心を持ってもらえる。

指定管理者 今のところメイシアター・メイトと若年層を増やすことは繋げては考え

られていない。メイシアター・メイトに関しては固定層をどう膨らますかが問題であり、今後レストランと連携していくような構想も検討している。一方で若年層の確保については、自主事業の取組の中で重点的に展開していきたいと考えている。

委員長 委員会の立場として、メイシアター・メイト制度自体が良いかどうかも含めて評価してもらえればと思う。経費削減について何か意見はあるか。

D 委員 参考資料の貸借対照表の中で、固定負債の退職給付引当金が前年度と比べて3千4百万円程度減少しているが何か理由はあるのか。

指定管理者 開館初期に雇用した長期勤続職員が定年時期を迎えており令和4年度には2名の退職者がいたためである。

委員長 退職により職員数は減少しているのか。

指定管理者 職員人数については再雇用制度があるのと、随時採用を行い補充している。若い人が採用できている場合は退職給付引当金額が増えるのは10～20年後になる。

委員長 舞台ライトの設置等は高齢者でも作業は大丈夫なのか。

指定管理者 高齢であるとはいえ5、60代であり舞台関係の経験があり高所作業の資格を持っている職員が作業にあたっている。また、委託業者にも入ってもらっているためその点は問題ないと認識している。

委員長 管理運営経費について、メイシアターのモニュメントについては先程の施設案内の時に館の空気の対流により可動しており電気代がかかっていないことについて確認できたが水道代についてはどうか。

指定管理者 水は循環させており水道使用料についても考慮している。メンテナンスについても常駐の設備管理業者で実施しているので、設備管理委託料として賄えている。

委員長 市との意見交換についてはどのようにしているのか。

指定管理者 制度化された定期的なものではなく、距離も近いので頻繁に随時意見交換をしている。また、新規事業として若手アーティスト育成事業を予定して

おり、そのことについて定期的に協議を行っている。

委員長 近隣の人達との連携についてはどうか。

指定管理者 事業団の評議員に自治会長が就任しているので、そこで意見は取り入れている。また、2年ほど前からメイシアター前のいずみの園公園で行われるコンサートを行っているが、実施の際には近隣の自治会長に案内を行い、自治会長から近隣の住人にイベントの案内をしてもらっている。

B 委員 メイシアターは阪急の駅から近いが、阪急電車との連携などはないのか。

指定管理者 広告掲載は、無料の催しは貼ってもらえるが、有料の催しについては、何十万単位で経費がかかるため実施していない。吹田駅には月ごとのメイシアターのイベント情報誌を持ち込んでいる。

C 委員 学校や企業との共同について何か行っているか。

指定管理者 企業については連携商品を始めとした地元企業の広告をメイシアターの情報誌に掲載を行ったり、メイシアターの催しを見に来てもらったりして関係を構築している。

学校については、毎年10校程度に中学校音楽連盟と連携したブラスバンド活動を行っている。児童文化研究会の小学校の先生と連携して、子供たちに演劇ワークショップを学校の体育館等で経験してもらおう取組を行っている。また、千里金蘭大学との共同事業として、ファミリーミュージカルを行っている。

委員長 吹田市は文化会館が文化の拠点であることをあまり感じられない印象を受けるため、もっと存在感や発信力を持てればいいと思う。

指定管理者 個別の大学との連携だけでなく、学生を総合的に巻き込んだ事業展開については、現在調整している。若手アーティストの育成事業の中で実現できれば良いと考えている。

A 委員 自主事業の中で新しく行った事業はあるのか。

指定管理者 令和5年度ではあるが防災コンサートを久しぶりに実施した。また、令和4年度は4月に行った喜劇、子供向けのミュージカル、ダンス等の事業

は新規で行った。

A 委員 毎年行っている事業で集客力がないものについては見直しても良いかと思う。決まっっていて必ずやらなければならないものなのか。

指定管理者 集客力については、令和4年度はコロナの影響がまだ残っており、高齢者の参加が控えられていたが、5月実施の落語等は令和5年度は満席であった。

B 委員 地震でホール自体のダメージがあったりコロナの影響で人が集まらない状況が続いていたり大変な時期を乗り越えてこれからまた事業を実施していけるのだと思う。人がたくさん集まるような工夫はされていると感じる。若い世代の文化を育てる取組についても力を入れて行って欲しい。また、文化会館に来てもらうだけでなく、現在行っている学校教育と連携したアウトリーチ活動も限られた体制の中で大変だとは思いますが力を入れてもらえればと思う。

指定管理者 改修やコロナの影響で収益が減っており、自主事業は経費的に厳しい中、市と一体で公園を利用したアウトリーチ活動や青少年の育成事業を受託事業として取り組んでいる。ただし、今後経営が回復してくれば、自主事業の中でも若者が集まるようにプロデュースしていきたい。

D 委員 貸借対照表の中で投資有価証券が今年度0になっている。おそらく国債による運用だと思うが、今後また検討はしているのか。

指定管理者 運用益を考えると20年以上でないと利益がでないため、20年国債を中心に検討している。地方債については証券会社によって取扱いが変わるので現在2社に絞り調整しており今期中の運用を考えている。

【指定管理者退場】

【評価シートの記入】

- 委員長 まず評価シートについて委員の意見の確認を行う。
- 評価シートの内容を見ると委員の中の意見の違いはあまりなかったように見受けられる。管理運営事項については自主事業についての指摘があり、利用者サービスについてはさらなる工夫をしてほしい等の意見があった。答申内容については、一部課題はあったものの委員長としては指摘するほどの課題には至っていないという印象を受けるがどうか。
- A 委員 「公共施設として、平等かつ公平な運営を適正に実施されていることが確認できた。」で良いと思われる。
- 委員長 それでは、「公共施設として、平等かつ公平な運営を適正に実施されていることが確認できた」を答申として良いか。

【一同異議なし】

【答申書に委員長の署名】

【答申書を市に提出】

- 事務局 評価シートでいただいた評価やコメントは事務局でとりまとめて「第三者モニタリング・評価により把握された内容及び対応策」へ清書して公表となるが、内容については委員長と調整し一任としてよろしいか。

【一同異議なし】

【解散】